

## 「全珍連SDGsアワード」審査基準

応募申請用紙の記載内容等を踏まえ、下表の各項目について、5段階の基準で評価を行い、総合的に選考する。

### (1) 評価項目

項目	概要
効果	企業の規模を踏まえた上で、SDGs達成に向けて、社会に与える効果の大きさはどうか
普及・汎用性	業界内のみならず、幅広くロールモデルとなり得る取組であるか
独自性	独自の工夫を凝らし、他社にないような取組みや先進性を有しているか
複合性	経済・社会・環境の分野における関連課題と相互関連性・相乗効果を重視しているか
参画性	様々なステークホルダー（関係者）を巻き込んで取組を進めているか
将来性	持続可能な取組であり、将来的に取組が発展する可能性があるか
透明性	自社の取組みを定期的に公表・評価しているか

### (2) 評価基準

- 5点：極めて顕著な功績があったと認められる
- 4点：特に顕著な功績があったと認められる
- 3点：顕著な功績があったと認められる
- 2点：功績があったと認められる
- 1点：功績は認められない

以上